

広報

みなみいず

2015

11

No.545

みのりの秋を体感

- 南崎、南伊豆認定こども園5歳児
南中小学校5年生 稲刈り -





平成27年南伊豆町議会 9月定例会が9月29日から10月30日まで開催され、「南伊豆町教育委員会委員の任命について」など原案どおり可決されました。

行政報告（要旨）

自治体間連携による特別養護老人ホーム等建設・運営事業者の決定

自治体間連携による特別養護老人ホーム等建設・運営法人につきましても、5月15日付けで公募を行い、8月31日、建設・運営事業者を社会福祉法人 梓友会 に決定し、静岡県土屋副知事(伊豆半島担当)、静岡県山口健康福祉部長、東京都杉並区田中区長にも同席いただき、記者発表いたしました。

平成30年1月の特別養護老人ホーム開所を目指し、事業を推進してまいります。

杉並区との自治体間連携事業

7月10日・11日の2日間にわたり、北海道名寄市において、東京都杉並区との防災・交流に関する協定を締結する名寄市、南相馬市、青梅市、小千谷市、東吾妻町、南伊豆町、北塩原村の8自治体が一堂に会し、「杉並区交流自治体スクラム会議」、「地方創生・交流自治体連携フォーラム」が開催されました。

同スクラム会議は、平成23年3月の東日本大震災直後に被災した南相馬市の支援に、杉並区と災害援助協定を結ぶ自治体が現地に集結したことに端を発しており、平成24年9月に杉並区と災害時相互援助に関する協定を締結した当町は、オブザーバーとして参加いたしました。

また、同自治体連携フォーラムは、本格的な高齢社会の到来を見据え、都市と地方の自治体連携により、それぞれが抱える高齢者問題や地域経済・コミュニティ問題などの解決を図ることを目的に交流自治体間で開催しているもので、今回、杉並区からは、当町との自治体間連携による特別養護老人ホーム建設の件が事例として発表されたほか、各市町村からは、クラインガルデンの整備、産官学連携、台湾交流等について報告がなされ、当町は「アクティブシニアのお試し移住」いわゆるワープステイ構想について提言いたしました。

本年度から杉並区との間で小中学生交流事業も始まり、8月・9月のそれぞれ3日間で、合計104人の小学生5・6年生が子浦に滞在し、南伊豆の自然を満喫していただきました。

南伊豆町まち・ひと・しごと創生事業

平成26年度中の地方創生法成立に伴う地域住民生活等緊急支援のための交付金については、当町には地方創生先行型30,845,000円、地方消費喚起・生活支援型19,175,000円の配分がありました。

採択された件目は「総合戦略策定に係る調査費等支援業務事業」、「空き家バンク物件リフォーム等補助事業」、「弓ヶ浜海水浴場国際化事業」及び「南伊豆プレミアム商品券発行事業」などを含めた8件で、これらすべてが平成27年度に繰り越され、現在事業展開中です。

町制施行60周年記念事業

7月30日、本町は町制施行60周年の節目を迎え、改めまして10月4日、静岡県、静岡県議会、姉妹都市、交流自治体等からも来賓を迎え、町制施行60周年記念式典を開催します。

あわせて、表彰条例に基づく町民表彰、総合戦略策定に参画していただく百人委員会の委員委嘱も実施し、式典終了後には、東京大学名誉教授 大森 彌 先生による地方自治に関する記念講演も行われます。

賀茂地域広域連携会議

4月20日「賀茂地域広域連携会議」が発足いたしました。

これは、当町、下田市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町における連携強化、一体的な振興を図るための方針や計画の決定等を行うことを目的とした自治体首長会議であり、定期的に首長会議を開催するとともに、テーマごとの専門部会も随時設置しております。

現在「消費生活センターの共同設置」、「教育委員会の共同設置」、「税の徴収事務の共同処理」、「災害時における人的・技術的支援体制の構築」、「賀茂地域における地籍調査の推進」、「賀茂地域の地域包括ケアシステムの構築・運用」、「官民・民民の連携」の7つの部会が稼働中で、10月には「監査事務の共同化」部会が立ち上がる予定です。

消費生活センターについては、平

成28年4月から県下田総合庁舎内において共同でスタートする運びとなりました。

地熱資源の活用

地熱資源の活用については、本年度も引き続き事業推進に努めているところでありますが、独立行政法人石油・ガス金属鉱物資源機構から「斜め掘りに係る経費が膨大となることが想定される」などの指摘を受けたことから、現在は昨年度収集したデータの数値再解析に入っております。11月中には、この結果がある程度出てまいりますので、これらをもとに来年度中の調査井の掘削を目指してまいります。

一部事務組合下田メディカルセンターによる旧公立湊病院解体計画

平成24年5月、公立湊病院が下田市に移転し、すでに3年5か月が経過いたしました。旧病院敷地の利用計画もなく手つかずの状態にあります。旧病院施設の老朽化や敷地内の荒廃が顕著となっていることから、組合管理者である下田市長に対し早期解体撤去に関する申し入れを行っているところです。

防災対策

1 災害時における静岡県司法書士会及び静岡県行政書士会との業務支援に関する協定締結

本町では、7月9日に静岡県司法書士会と大規模災害時における司法書士相談業務の支援に関する協定を締結いたしました。さらに、7月17日には、静岡県行政書士会と大規模災害時における被災者支援協力に関する協定を締結いたしました。

2 静岡県地震津波アクションプログラム2013に伴う津波避難施設整備及び津波対策地区協議会の設置

6月18日、静岡県は過去に発生した地震に関する最新知見に基づき、レベル1の地震による想定津波高を発表いたしました。

町では、「静岡モデル」の推進に伴

い、各海岸地区を旧村単位とする地区協議会を立ち上げ、10月15日には全体説明会を兼ねた津波講演会を開催する予定であります。

3 消防操法大会

6月14日、松崎町営グラウンドにおいて、静岡県消防協会賀茂支部操法大会が開催され、小型ポンプ操法の部が準優勝となりました。また、9月13日には静岡県消防学校において、静岡県消防操法大会が挙行され、賀茂支部の代表団としてポンプ車操法の部に出場いたしました。選手達は、本町消防団の誇りと積み重ねた訓練の日々を糧に、堂々とした素晴らしい操法を披露し、一番員が最優秀選手に選ばれるなど、その実力を如何なく発揮しました。

4 南伊豆中学校区防災キャンプ

8月18日・19日の両日、南中小学校を会場に南伊豆中学校区の住民と南伊豆中学校生徒を対象として、災害を想定した体験・学習活動を通じての防災意識の向上、自助・共助の意識を高め、災害時に地域で活躍できる行動力を養うことを目的とした「防災キャンプ」を実施いたしました。

参加した中学生にとっては、避難所運営が如何に大変なのかということが体感できた貴重な時間であったと言えます。

産業振興等

1 イベント等の開催状況

6月28日「第2回 南伊豆・弓ヶ浜オープンウォータースイム大会」が開催され、全国各地から65人の参加があり、続いて9月6日には「第2回 南伊豆・弓ヶ浜OWS国際マスターズ大会」が開催され、海外からの招待選手も含めて106人の参加がありました。また、毎年行われている

観光施設等の入込状況

区分	平成27年度(人)	平成26年度(人)	前年度比(%)
海水浴場	110,853	107,224	103.39
宿泊施設	103,239	100,220	103.01
観光施設	58,882	63,486	92.75
温泉施設	31,869	53,380	59.70
合計	304,843	324,310	94.00

「弓ヶ浜ビーチバレーボール大会」は、8月29日から30日にかけて開催され、全国各地から377人の参加者がありました。

2 観光施設等の入込状況

昨年、弓ヶ浜海水浴場において「弓ヶ浜スプラッシュウォーターパーク」が開設されたことにより、当町における海水浴客数は前年に比べ増加しております。弓ヶ浜海水浴場では66,090人で対前年度比105.2%、子浦海水浴場は4,530人で88.0%となり、中木海岸(ヒリゾ浜)では27,000人で96.8%となりましたが、妻良海上アスレチックは13,233人で116.3%となり、新たな観光スポットとして妻良谷川浜でも多数の遊泳客で賑わいました。

3 鳥獣害対策用電気柵の安全対策

賀茂地域内において、7月19日に発生した電気柵による死傷事故を受け、町では賀茂農林事務所、伊豆太陽農業協同組合、町内農業関係者及び町職員による緊急点検を実施いたしました。点検結果では、電源、漏電遮断機、スイッチ等の不備は認められず、危険表示版の不備が判明した30箇所の設置者には、危険表示版を配布し、早急に設置するよう指導いたしました。



ふるさと寄附

平成20年度から取り組んでおります「ふるさと寄附制度」については、寄附金額が平成25年度あたりから伸び始めており、平成24年度中の寄附額は1,450,000円、平成25年度は6,032,000円、平成26年度は28,122,260円で、本年度においては、8月末日現在で60,132,100円の寄附がありました。



みなみいずの 財政状況

皆様から納めていただいた税金や、国・県からの補助金などが、どのように使われているのを知っていただくために財政状況を公表しています。

今回は、平成26年度決算の概要をお知らせします。

問合せ 総務課 財政係 ☎ 6 2 - 6 2 1 1

一般会計決算

平成26年度一般会計決算の概要

平成26年度における一般会計の歳入総額は、47億1,978万円で、前年度と比べて4億3,989万円の減でした。

歳入総額に占める自主財源（町税等）の比率は30.5%で、依然として依存財源の割合が高い状況にあります。

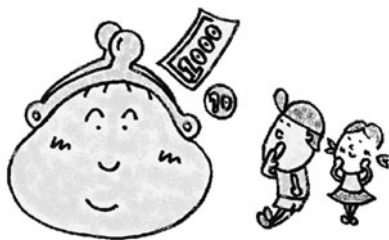
歳出総額は、44億5,726万円で、前年度と比べて4億1,463万円の減でした。

目的別の内訳は、民生費が最も多く、次いで総務費、保健衛生・清掃事業などの衛生費、借入金返済のための公債費、以下土木費、消防費、教育費、商工費、農林水産業費、議会費、災害復旧費の順になっています。

前年度に比べ歳出決算額が減少した要因は、前年度の津波避難タワー建設事業、石廊崎ジャングルパーク跡地取得費等が完了したためです。また、地方債の新規借入抑制により、公債費の額も年々減少しています。

なお、財政健全化法に定めのある財政指標（健全化判断比率）については、健全であるとされる基準内に納まっています。

各比率とその分析については、町のホームページをご覧ください。



特別会計決算

特別会計とは、一般会計とは別に特定の歳入を特定の歳出に充て、一般会計の歳入歳出とは区分して運営する会計です。

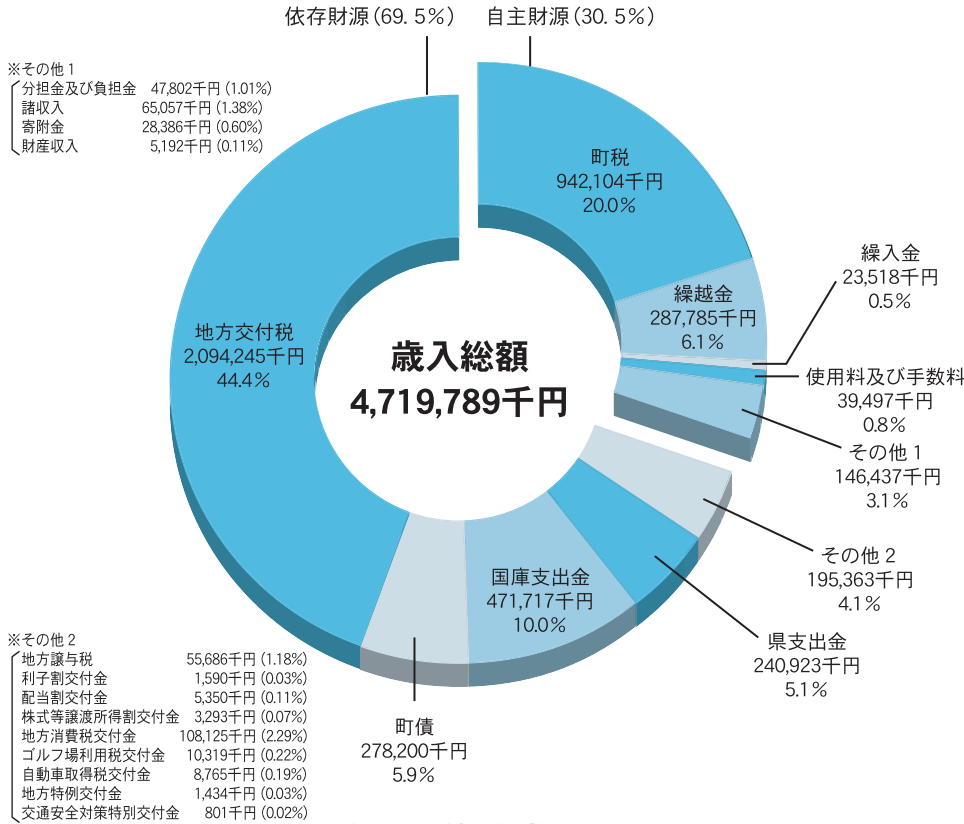
また、水道事業会計は事業収益を持ち、企業方式で経営しています。

（単位：円）

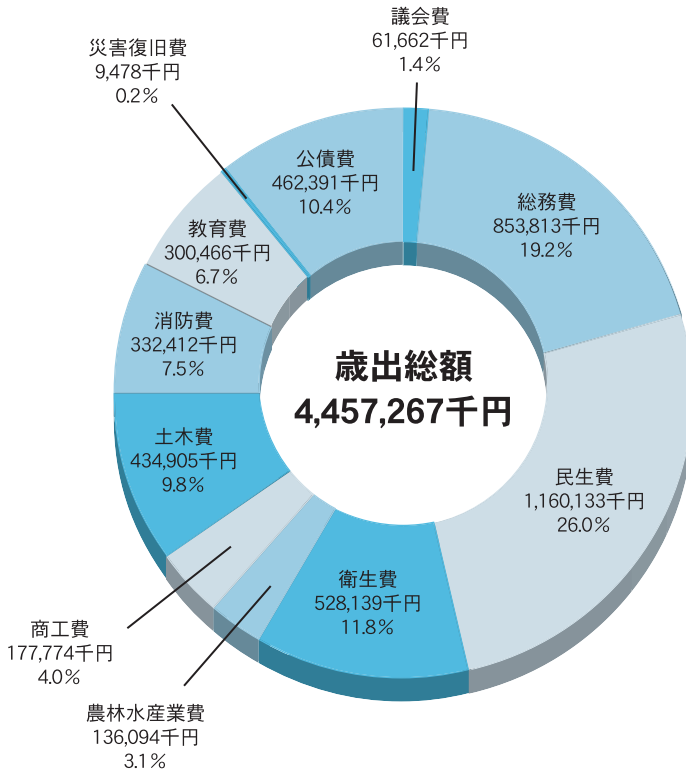
特別会計名	歳入	歳出
国民健康保険	1,717,190,884	1,573,261,341
介護保険	1,036,732,081	1,036,663,363
後期高齢者医療	107,582,462	107,509,262
南上財産区	335,979	109,680
南崎財産区	446,183	345,000
三坂財産区	9,051,429	8,959,418
土地取得	16,737,995	16,737,995
公共下水道事業	357,375,858	336,375,858
子浦漁業集落排水事業	12,756,443	12,756,443
中木漁業集落排水事業	7,841,611	7,841,611
妻良漁業集落排水事業	18,291,865	18,291,865
水道事業	448,059,334	540,506,809

一般会計決算の構成

歳入決算構成比



歳出決算構成比



町民1人当たりの納税
106,561円

町民1人当たりの支出
504,159円

言葉の意味

町税

皆さまから納めていただく住民税や固定資産税等

線入金

基金を取り崩したお金等

使用料及び手数料

保育料、町の施設の使用料、証明手数料等

分担金及び負担金等

特定のサービスを受けた方から負担していただいたお金等

交付金等

国から一定の割合等で配分、譲与されたお金

国庫・県支出金

特定の目的のために国や県から交付されるお金

町債

町の借金。大規模な事業を行うため国などから借りるお金

地方交付税

町が標準的な仕事をする際に不足する財源を補てんするため国から交付されるお金

※財政用語の解説について、町のホームページにも掲載しています。

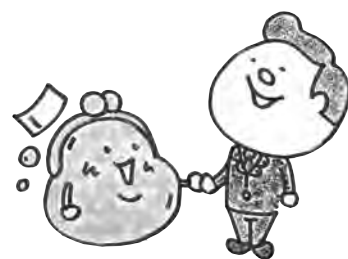
町民1人当たりの支出内訳	衛生費	消防費
59,737円		
6,975円	農林水産業費	教育費
15,394円		
96,574円	総務費	災害復旧費
20,108円		
131,222円	民生費	土木費
49,192円		
52,301円	公債費	

※人口8,841人(平成27年4月1日現在)で算出しています。

平成26年度決算に基づく 健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率とは「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で定められた、自治体財政の健全度を測る4つの財政指標の総称です。

算定の結果、当町はいずれの数値も基準内に納まっておりますが、財政状況が厳しいことに変わりはなく、今後も財政の健全化維持に努めてまいります。



■健全化判断比率

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
早期健全化基準	15.0	20.0	25.0	350.0
財政再生基準	20.0	30.0	35.0	
平成26年度	—	—	9.3	60.6
平成25年度	—	—	9.8	61.1
平成24年度	—	—	10.1	64.4

※赤字額がない場合には「—」で表示しています。

? 言葉の意味

早期健全化基準

この基準を超えると財政健全化計画を策定して自主的な財政再生を目指すこととなります

財政再生基準

この基準を超えると総務大臣の同意を得て財政再生計画を策定し、国の監督下で財政再生を行うこととなります

実質赤字比率

一般会計の赤字度合いを表した比率

連結実質赤字比率

全会計の赤字度合いを表した比率

実質公債費比率

財政の規模に対する借入金の返済額やこれに準じる負担金などの割合

将来負担比率

財政の規模に対する将来負担すべき負債の割合

資金不足比率

資金不足額の事業規模に対する比率

財政調整基金

経済事情の著しい変動により不足した財源や、災害により生じた経費などの財源に充てるための基金

減債基金

町債を償還するための基金

特定目的基金

特定の目的のために積み立てられる基金

■資金不足比率

公営企業（水道事業、公共下水道事業、子浦・中木・妻良漁業集落排水事業）における資金不足額はありません。

基金の状況

(単位：千円)

区 分	平成25年度末現在高	平成26年度末現在高	
財政調整基金	961,719	964,564	
減債基金	3	3	
特定目的基金	庁舎建設基金	39	39
	観光施設整備基金	25,232	25,237
	福祉振興基金	45,523	45,673
	スポーツ振興基金	31,000	31,000
	ふるさと創生基金	15,472	15,472
	ふるさと水と土基金	10,000	10,000
	交通安全対策推進基金	20,417	20,417
	石垣りん文学記念基金	6,536	6,400
	ふるさと応援基金	12,257	40,379
	公共施設整備基金	300,000	300,210
緊急地震・津波対策基金	120,948	105,575	
文化財保護基金	0	500	
土地開発基金	2,302	2,952	
計	1,551,448	1,568,421	

職員給与等のあらまし

町職員の給与等および職員数の状況についてお知らせします。町職員の給与は、国および他市町村の職員ならびに民間事業所の給与等を考慮し、町議会で議決された「南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例」で定められています。

人件費の状況（平成26年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (27.3.31)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件比率 (B/A)
8,841人	4,474,005千円	248,934千円	831,421千円	18.58%

(注) 人件費には、常勤特別職に支給される給与、報酬を含みます。

職員給与費の状況（平成26年度普通会計決算）

職員数 A	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計 B	
111人	373,103千円	34,779千円	138,954千円	546,836千円	4,926千円

(注) 給与費には、常勤特別職、議員および各種委員の報酬は含みません。また、職員手当には、退職手当を含みません。

職員の平均給料月額・平均年齢の状況（平成26年度）

一般行政職			技能労務職		
平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
286,359円	320,927円	38.5歳	260,867円	274,546円	53.7歳

(注) 給与は、給料に手当を加えた額です。

一般行政職の級別職員数の状況（平成27年4月1日現在）

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	計
標準的な職名	主事	主事技師	主任主事 主任技師	係長	主幹	課長 局長	
職員数	17人	16人	12人	9人	10人	7人	71人
構成比	23.9%	22.5%	16.9%	12.7%	14.1%	9.9%	100.0%

(注) 1 南伊豆町給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務です。
3 一般行政職は、全職員から町長、副町長および教育長ならびに福祉職19人、税務職8人、技能労務職12人、保健職5人、企業職4人、教育職1人を除いたものです。

期末・勤勉手当の状況

区分	6月期	12月期	計
期末	1.225月分	1.375月分	2.6月分
勤勉	0.75月分	0.75月分	1.5月分
合計	1.975月分	2.125月分	4.1月分

特別職の報酬

区分	給与	期末手当
給料	町長	4.1月分 (6月期:1.925 12月期:2.175)
	副町長	
	教育長	
報酬	議長	3月分 (6月期:1.3、12月期:1.7)
	副議長	
	議員	
	議員	

職員数の状況

(単位:人)

区分	職員数		対前年増減数	
	平成26年	平成27年		
普通会計	議会	2	2	
	総務	24	28	4
	税務	8	8	
	農水	5	4	△1
	商工	7	6	△1
	土木	7	7	
	民生	24	28	4
	衛生	12	9	△3
	小計	89	92	3
	特別行政	教育	22	15
普通会計小計	111	107	△4	
公営企業等会計	水道	4	4	
	下水道	2	3	1
	その他	6	6	
	公営企業等会計小計	12	13	1
総合計	123	120	△3	

(注) 職員数には、常勤特別職を含みません。

団体区分別ラスパイレス指数（一般行政職）※1

区分	平成26年度
全国平均	98.9
都道府県平均	99.9
全国市平均	98.6
全国町村平均	95.6
静岡県	102.7
南伊豆町	94.2

※1 国家公務員行(一)の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準。



初任給の状況

区分	南伊豆町	国	
一般行政職	大学卒	174,200円	172,200円
	高校卒	146,500円	140,100円
技能労務職	高校卒	146,500円	—
地域手当支給	無	有	

経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

区分		経験年数		
		7年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満
一般行政職	大学卒	232,850円	250,800円	310,975円
	高校卒	197,400円	該当者無	258,500円
技能労務職	高校卒	該当者無	該当者無	該当者無

(注) 経験年数は、給与実態調査の基準によるため、職員の実際の勤続年数とは異なる場合があります。

しずおか 市町対抗駅伝



12月5日(土) 10:00
県庁前スタート!

県内35市町39チームが参加する「第16回静岡市町対抗駅伝競走大会」が12月5日(土)に静岡市内で開催されます。

このほど南伊豆町代表選手20名が決定しました。今年は7月下旬から合同練習を開始し、毎週月・水曜の夜間に差田グラウンドで練習を行ってきました。去年は町の部11位という結果でしたが、今年は町の部6位入賞を目標に練習を積み重ねています。

南伊豆町の代表として、懸命に走りタスキをつなぐ選手たちに温かいご声援をお願いします。

南伊豆町代表選手

監督



桐原 健造
(手石)

コーチ



山田 悠一
(湊)

小学生 男子



秋山 葉音
(湊)



大塚 翔
(下賀茂)

小学生 女子



齋藤 花帆
(市之瀬)



渡邊 笑瑚
(大瀬)

中学生 男子



土屋 柚
(下賀茂)



志津 優騎
(下小野)



鈴木 芳樹
(湊)

中学生 女子



杉山 佳菜子
(石井)



鈴木 あいみ
(上賀茂)



山下 夕月
(下賀茂)

高校生 男子



肥田 任生
(伊浜)



谷 雄志
(青市)



土屋 亮太
(手石)

高校生 女子



山本 麻衣
(市之瀬)

一般 男子



鈴木 勝弓
(青野)



山本 陽介
(市之瀬)

一般 女子



佐藤 愛
(加納)



松原 利枝
(毛倉野)

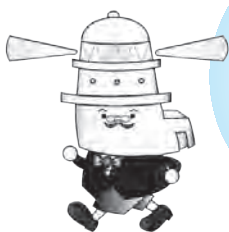
40歳以上



笠井 慎
(加納)



望月 孝一
(青市)



ゼッケンナンバー
30に注目!
応援よろしく
お願いします!

問合せ 教育委員会事務局 ☎62-0604

11月は計量強調月間

正確な計量は私たちの生活の基本です

私たちの身の回りでは、ガス・水道・電気の使用量、スーパーマーケットでの肉や魚の計量、タクシー料金・ガソリン料金の計算などに、様々な計量器が使われています。

私たちの暮らしが安全で快適であるためには、これらの計量器が正確に作動し、正しく使われることが重要です。そのために、「計量法」で規制の対象となる計量器を指定するとともに、適正な計量の基準を定めています。

食品の内容量と風袋について

はかりで計った重さのことを量目りょうもくといいます。計量法では、量目について「正確な計量」に努めるよう義務付けています。

また、商品の入れ物（トレイ、ラップ、包装材等）と添え物（わさび、たれ、つま等）を風袋ふうたいといい、商品の量目（内容量）には、風袋は含まれません。

商品の内容量＝商品全体の重さ（総量）－ 風袋

身近な特定計量器と有効期限

特定計量器名	有効期限
ガスメーター	10年
水道メーター	8年
電気メーター	1年
タクシーメーター	1年
自動車等給油メーター	7年

体温計、血圧計、ガスメーター、水道メーター、ガソリンスタンドの自動車等給油メーターなどは、計量法で「特定計量器」に定められています。その中には検定等の有効期限のあるものがあります。検定等の有効期限を過ぎたものは使用することができません。

問合せ 産業観光課 商工観光係 ☎62-6300
静岡県計量検定所 ☎054-278-8311



はかりの定期検査を受けましょう

食品店や薬局などで取引・証明に使用するはかりは、2年に1回定期検査を受ける必要があります。南伊豆町の次回の定期検査は平成28年度です。なお家庭用のキッチンスケール等については、検査義務はありません。

役場正面玄関横に「町民の声」投函箱を設置しました



町では、町政に対する皆さまからのご意見やご要望・ご提案などをお待ちしています。このほど、役場正面玄関横に「町民の声」投函箱を新たに設置しました。「用事がない時の役場の中は入りづらい」、「役場が閉庁時間にも利用したい」といった方々は、ぜひご活用ください。また「町民の声」は、FAX、メールでも受け付けています。

ホームページ

<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>
FAX 62-1119

乳がん検診のお知らせ

問合せ
健康福祉課 健康係 ☎62-6233



右記日程のとおり、乳がん検診を実施します。(完全予約制)
受診希望の方は受付期間中に健康福祉課健康係までお申し込みください。

対象者

40歳以上で偶数年齢の方
*基準日 平成28年3月31日

負担金

40～60歳、国民健康保険加入者、
70歳以上の方…無料
社会保険加入者…1,500円

検査方法 乳房X線検査(マンモグラフィ)

申込期間 11月24日(火)～12月2日(水)

月日	会場	受付時間
12月	5日(土)	役場
	7日(月)	
	8日(火)	
	10日(木)	
	11日(金)	
	12日(土)	9:00
	14日(月)	}
	15日(火)	11:00
	16日(水)	ふるさと公園管理棟
	17日(木)	大瀬公民館
12月	18日(金)	ふるさと公園管理棟
	19日(土)	
		13:00
		14:00



11月は 児童虐待防止推進月間

「もしかして」
あなたが救う
小さな手

児童虐待に関する相談件数は依然として増加傾向にあり、特に、子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶たず、児童虐待は社会全体で早急に解決すべき深刻な問題となっています。

このため、11月を「児童虐待防止推進月間」と定め、家庭や学校、地域など社会全般にわたり、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得られるよう、広報・啓発活動を実施しています。

虐待かどうかは保護者の意識の問題ではありません。子どもがどう感じ、どう傷ついているか「子どもの立場」から判断されるものです。

児童虐待とは・・・

身体的虐待 殴る、蹴る、たたく、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる 等

ネグレクト 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する 等

心理的虐待 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力を振るう 等

性的虐待 子どもへの性的行為、性的行為を見せる 等

虐待かもと思ったら



また、出産や子育てに関する悩みや疑問がある方も、お気軽にご相談ください。
児童相談所全国共通ダイヤル
0570-064-000でもお近くの児童相談所へつながります。

問合せ 健康福祉課 福祉介護保険係 ☎62-6233

交通安全ポスターコンクール



南伊豆町交通安全対策委員会は、交通安全意識の高揚と交通事故防止を図るため、交通安全ポスターコンクールを実施しました。

町内の小学校3年生と中学校2年生が描いた作品の中から厳正な審査を行い、入賞作品10点を決定しました。このうち、小学校の部の最優秀作品をポスターにして、町内の公共施設に掲示しました。

小学校（3年生）の部



南伊豆東小学校
飯野 心椛さん



南伊豆東小学校
長田 杏香さん



南伊豆東小学校
正田 海月さん



南中小学校
池野 卓心さん



南伊豆東小学校
杉本 陸さん

中学校（2年生）の部



南伊豆中学校
外岡 蓮さん



南伊豆中学校
黒田 優さん



南伊豆中学校
長崎 由菜さん



南伊豆東中学校
谷 孔作さん



南伊豆中学校
井上 涼子さん

南伊豆町メール配信サービス登録のご案内

町では、住民のみなさんの携帯電話やパソコンへ、行政情報のメール配信サービスを行っています。同報無線の内容や町からのお知らせ情報を知りたいという方は、ぜひ登録をしてください。

※携帯電話で迷惑メール対策をされている場合は、下記の2点についてご確認/設定をお願いします。

- 1 「sg-m.jp」ドメインからのメール受信を許可する設定にしてください。
- 2 URL付きメールの受信を許可する設定にしてください。

- 1 下記QRコードを読み取り、空メールを送信



(QRコードが読み取れない場合は、t-minamiizu@sg-m.jp に空メールを送信してください)

- 2 折り返しメールが届いたら、メールのURLをクリック
- 3 配信希望情報にを入力し、内容を登録する
- 4 登録完了のお知らせメールが届く⇒登録完了!

南伊豆町町制施行 60周年記念式典

南伊豆町は、今年で町制施行60周年を迎えました。これを記念し、先人の英知と郷土発展に寄与された方々に感謝するとともに、今後の町の発展を祝う記念式典を10月4日（日）開催しました。

第一部では、土屋優行静岡県副知事をはじめ、多くのご来賓の方々より祝辞を頂いた後、町制施行60周年表彰（南伊豆町表彰条例に基づく善行表彰）、総合戦略策定に参画していただく百人委員会の委員委嘱、第二部では、東京大学名誉教授の大森彌（ひろ）氏による講演会、南伊豆中学校生徒による合唱が行われ、多くの皆さんとともに節目を祝いました。



①



②



③



④



⑤

- 1 式辞を述べる梅本町長
- 2 表彰では、一人一人に梅本町長から表彰状が贈られた
- 3 南伊豆町百人委員会の委員を代表して関本宗一さんが梅本町長から委嘱書の交付を受けた
- 4 大森彌名誉教授による記念講演「小規模自治体における地方創生と広域連携」の様子
- 5 南伊豆中学校3年生による「大地讃頌」の合唱

町制施行60周年表彰受賞者（南伊豆町表彰条例に基づく善行表彰）

澤田 善太郎 南伊豆町加納

昭和32年10月に歯科診療所を開業されて以来、長年にわたり地域の歯科衛生の発展に貢献されました。

渡邊 権 南伊豆町蝶ヶ野

静岡県自然環境保全審議会温泉部会委員、静岡県環境審議会温泉部会特別委員として、長きにわたり県内の温泉保護と適正利用の推進に貢献されました。

渡邊 守男 南伊豆町下賀茂

平成4年から南史会会長として文化財の保護及び普及啓発活動に尽力し、町民の文化向上に貢献されています。

高橋 道安 南伊豆町青市

平成5年4月から9年間南伊豆町消防団副団長として、また平成14年4月から9年間南伊豆町消防団長として、長きにわたり消防業務に尽力されました。

吉澤 昭 南伊豆町加納

みなみの桜と菜の花まつり実行委員会委員長を14期務め、町の一大イベントに確立させました。また、獣医師として、長年にわたり動物医療の発展に尽力されています。

童話屋

代表取締役 **田中 和雄**
東京都杉並区

石垣りん文学記念室へ数多の図書寄贈と多額の寄付をされ、また町内小中学校へ数多の図書寄贈と「石垣りん文学記念室事業」として詩の授業を開催されています。

村越新聞店

所長 **村越 光世** 下田市西本郷

新聞購読者から古紙を回収し、その収益で図書を購入して、町内小中学校へ数多の図書を寄贈されています。

9/26 小稲の虎舞



虎を仕留めた和藤内

小稲来宮神社例大祭の本祭りが行われ、海岸に設けられた特設舞台上で伝統芸能「小稲の虎舞」が披露されました。見せ場の立ち回りで和藤内が暴れる虎を退治すると、観衆からは大きな拍手が送られました。

10/11 泳いで走ってアクアスロン



弓ヶ浜沿いの道路を懸命に走る選手たち

弓ヶ浜海岸において第2回南伊豆・弓ヶ浜アクアスロン大会が開催され、県内外から128人が出場しました。参加者はスイム、ランの2種類を力泳、力走してゴールを目指しました。

10/18 内容満載！フェスタ南伊豆



フェスタ南伊豆の様子

10/8 おおきくなあれ！



種まきをする子どもたち

町農業振興会主催の第24回元気な百姓まつりが湊の休耕田を舞台に開催されました。南伊豆東小学校3年生、南伊豆東中学校3年生が参加し、日野の休耕田で菜の花の種まきに励みました。

10/20 心をひとつにして



練習の成果を披露する生徒たち

第57回南伊豆小・中学校音楽発表会が南伊豆東中学校で行われました。各学校の児童・生徒たちは心を一つにして合唱曲を歌い、観覧者たちの心を魅了していました。

第12回フェスタ南伊豆が役場を主会場に行われました。開会式では、南伊豆町スポーツ・文化表彰に基づくスポーツ栄誉賞の表彰および社会福祉協議会善行者に対する感謝状贈呈が行われ、個人の功績を称えました。※1開会式に続いて、地元産業団体による地場製品の販売や、姉妹都市の長野県塩尻市による高原野菜をはじめとする特産品の販売、骨密度測定などの健康測定コーナー等が出店されました。また、下賀茂商店街では役場前～前原橋交差点間を通行止めにし、南伊豆認定こども園5歳児の遊戯、南中小・南伊豆中学校生徒によるソーラン節、交流自治体の杉並区による阿波おどりの披露もあり、会場は大いに盛り上がりました。※1表彰された方は、次のとおりです。(敬称略)
【スポーツ栄誉賞】 小澤翔、加藤博夢、高木凌
【善行者に対する感謝状贈呈】 佐藤浅雄、田中強

■ ■ ■ 今月のおすすめ ■ ■ ■



「絶頂の一族」
松田賢弥著／講談社

「昭和の妖怪」の幻影を追う安倍ファミリーの研究！ゴッドマザー・洋子に操られた首相のいびつさを浮かび上がらせる衝撃の書。



「為吉一北町奉行所ものがたり」
宇江佐真理著／実業之日本社

与力、見習い同心、岡引きなど、江戸の治安を守る“狼”達が集う庭の、悲喜交々の人間模様。事件の裏に隠された過酷な真実とは…。



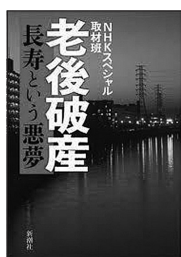
「陽光桜」
高橋玄著／集英社

「陽光桜を世界平和のシンボルにするんじゃ！」多くの教え子を戦争で死なせた後悔から戦争根絶を誓い、新品種の桜作りで没頭した高岡正明。



「十字の記憶」
堂場瞬一著／KADOKAWA

元市長の息子が大学跡地で惨殺死体で発見された。事件を追う新聞記者と刑事は高校時代の同級生。彼らの背負った同じ後悔が事件のカギを…。



「老後破産」
NHKスペシャル取材班／新潮社

年金だけでは暮らしていけない！超高齢化社会を迎えた我が国で広がる「老後破産」の現状を追う。この悪夢は、決して他人事では無い！



「東京零年」
赤川次郎著／集英社

死んだはずの男・湯浅道男が生きていることを知った亜紀と健司は、事件の真相を解明するために動き出す。しかし、待ち受けていたのは…。



「教育という病」
内田良著／光文社

学校現場の柔道における死亡事故の多発を指摘した気鋭の社会学者が「教育病」に罹患した結果起こってしまった事例や問題を明らかに。



「下山事件 暗殺者たちの夏」
柴田哲孝著／祥伝社

戦後間もないGHQ占領下の日本である事件が起きた。昭和24年7月5日、初代国鉄総裁が失踪。翌6日未明、線路上で殞死体となって発見された。



「永遠のピアノ」
シュシャオメイ著／芸術新聞社

音楽があったからあの革命を乗り越えられた。演奏することは死をも意味した…。破壊と混乱の文化大革命が多くの時間を奪い去った。



「藪医 ふらここ堂」
朝井まかて著／講談社

家族、夫婦、子育て、「恋」まで診立てます。天野三哲は江戸・神田三河町で開業している小児医。「面倒臭え」が口癖で近所でも有名な藪医者。

— 新着図書案内 —

少女は本を読んで大人になる 阿川佐和子他
アウシュヴィッツを志願した男 小林 公二
国家がよみがえるとき 古市 憲寿
マイナンバー制度番号から住民を守る 白石 孝
勉強嫌いほどハマる勉強法 宝槻 泰伸
自衛隊海外派遣と日本外交 庄司 貴由
おうちサラダもてなしサラダ 主婦の友社編
茶の湯を愛したお殿さま 八尾 嘉男
紅茶の時間 山田 詩子
花咲小路二丁目の花乃子さん 小路 幸也
綺良のさくら 今井絵美子
生還者 下村 敦史
雨の裾 古井 由吉
死んでたまるか 伊東 潤
緩和ケア医が見つめた「いのち」の物語 堀 泰祐

「ブックスタート事業」 がはじまります！

6か月児育児相談に来た親子に絵本を贈る「ブックスタート事業」が、11月から始まります。

湯けむりホールで健診を受けた乳児と保護者に、図書館職員や読み聞かせボランティアが読み聞かせをし、絵本を進呈します。この事業は、赤ちゃんと周りにいる人たちが、言葉と心を交わし、絵本を通してかけがえのないひとときを持つことを応援するのが目的です。

まだ本を読んであげるのは無理かなと思っているお母さんもいらっしやいます。しかし、赤ちゃんに心を添わせて読み進めると、ほとんどの赤ちゃんが絵本に強い興味を示します。絵をじっと見たり、足をばたばたさせて喜んだりする姿は感動的です。

健康レシピ

へらへら団子



▷ 材料／12枚分 ◁ (1枚分エネルギー40kcal、塩分0.1g)

- 小麦粉・・・100g
- 熱湯・・・約80cc
- いりごま・・・大さじ1・1/2
- 砂糖・・・大さじ2強
- しょうゆ・・・大さじ1

▷ 作り方 ◁

- ①いりごまをすり、砂糖、しょうゆを混ぜてタシを作る。
- ②小麦粉と熱湯を混ぜ合わせ、ひと口大にし、押しつぶして平たくする。
- ③②を熱湯(分量外)でゆであげ、①とあえる。

ここがポイント!



ゆでる前の団子の固さは、耳たぶ
くらいの固さが目安です。

毎月19日は『食育の日』



なずみかい

南豆味会(健康づくり食生活推進協議会)
問合せ 健康福祉課 ☎62-6233



みなみいず探索記

地域おこし協力隊



西海岸を冒険!



ツアーを開催しました



私たち地域おこし協力隊の活動拠点である三浜地区。このたび、三浜地区の妻良にて「南伊豆コーストライン・アドベンチャー in MERA」を開催しました。

妻良周辺をトレッキングと地元船で巡るこのツアー。9月下旬～10月中旬の期間に4回開催し、町内および県内、また首都圏方面からもツアーにご参加いただきました。

南伊豆歩道トレッキングは、吉田・白鳥神社にあるジャクシンの奇木を見てからのスタート。かつて炭焼きや茅刈りのために利用された山道を登り、二十六夜山や谷川浜の地名の由来を辿り、駿河湾を見下ろす展望スポットを経て妻

良へと下ります。船に乗り妻良港をあとにすると、鯛ヶ崎や経の字島がせまり、沖に出ると歩いた時には分らなかった迫力の景観が目の前に。子浦の「蛇下り」も見上げるほどの高さでした。

いずれの開催日も天候や海のコンディションには恵まれず、残念ながら出航できない日もありました。海に沈む夕日を眺める期待もかなわず…でしたが、参加者からは「歩いたから見られた風景がある」「海からの眺めが新鮮」などの声。知られていない南伊豆の良さはまだまだありそうです。

(隊員 田中)

お知らせ

第8回 南伊豆を知ろう会

町内において、歴史資料の永年保存を行うため、調査や修復作業を行っているNPO法人歴史資料継承機構（通称「じゃんびん」）が、本年度の調査・保存活動についての報告会を開催いたします。

日時 11月28日(土)13:30~15:30

場所 役場 湯けむりホール

内容

- ① 地域のお寺が迎えた近代
—上賀茂最福寺の明治—
- ② 南伊豆の船と流通を考える

その他

資料や活動状況のパネル展示、南伊豆での調査報告書をお買い求めいただけます。

問合せ 教育委員会 社会教育係

☎62-0604

「静岡県家庭の日」および 「家庭教育を考える強調月間」

家庭環境や社会環境の変化に伴い、家庭の教育力の低下が指摘されています。県では、家族が家庭の役割を考え、コミュニケーションを深める日を「家庭の日」とし、また11月は、家族が家庭教育の役割やその重要性を見つめ直す月として「家庭教育を考える強調月間」としています。

皆さんもこの機会に、家族で一緒に過ごしながら家庭教育について考えてみましょう。

○「静岡県家庭の日」

それぞれの家庭で都合の良い日

○「家庭教育を考える強調月間」

毎年11月

問合せ 教育委員会

☎62-0604



やっぱり、家族っていいね。

家族の日
家族の週間

2016年版 県民手帳を販売中

役場企画調整課窓口にて「2016年版静岡県民手帳」を販売しています。

最新の統計データや県内市町のイベント情報、さまざまな統計データなどの情報が掲載されています。

価格・大きさ

大型特装版 700円(縦14.5cm×横9cm)

大型通常版 700円(縦14.5cm×横9cm)

小型通常版 600円(縦12cm×横7.3cm)

販売期間 平成28年1月31日まで

問合せ 企画調整課

☎62-6288

平成28年 成人式のご案内

日時 平成28年1月10日(日)

受付10:00~ 開式10:30

場所 役場 湯けむりホール

対象者 平成7年4月2日から平成8年4月1日までに出生し、南伊豆町に住んでいる方

*南伊豆町出身で、現在町外に在住している方も含みます。

問合せ 教育委員会

☎62-0604

年末調整・青色申告 決算説明会の開催

◆年末調整等説明会（法人および個人の白色申告者）

日時 11月20日(金)13:30~15:30

場所 下田市民文化会館 大ホール

◆青色申告決算等説明会（個人の青色申告者）

日時 11月20日(金)

①10:00~12:00 ②13:30~15:30

*①、②は同じ内容です。

場所 下田市民文化会館 大会議室

問合せ 下田税務署

☎22-0185

*自動音声により案内しています。この文書に関するご質問は「2」を選択してください。

「災害ボランティアコーディネーター養成講座」開催

南伊豆町、下田市において、大規模災害等で被災した場合には

「災害ボランティア本部」が立ちあがります。助けを必要とするお宅に、円滑にボランティアを派遣するため、本部の運営に関する研修会を開催します。

【1日目】

日時 11月28日(土)9:00~16:00

場所 道の駅開国下田みなと4F会議室3

内容 講義(被災体験談、被害想定)等

【2日目】

日時 12月12日(土)9:00~12:00

場所 下田市民文化会館2F大会議室

内容 災害対応カードゲーム等

受講対象者

- ・町内在住者で、2日間出席できる方
- ・災害ボランティアやそのコーディネーター活動を希望される方

定員 40人

受講料 無料

申込締切 11月13日(金)

問合せ 社会福祉協議会

☎62-3156

平成27年度 自衛官等募集案内

防衛省では、陸上自衛隊高等工科学校生徒（一般）を募集しています。

募集人員 約260人

資格 男子で中卒（卒業見込の生徒を含む）17歳未満の者

受付締切 平成28年1月8日(金)

試験期日

- ・1次試験 平成28年1月23日(土)
- ・2次試験 平成28年2月4日(木)~7日(日)までの間の指定する1日

入(校)隊 平成28年4月上旬

*修学年限3年、卒業後は陸士長

問合せ 自衛官募集コールセンター

☎0120-063-792

メディカル通信

冬の感染症流行シーズンに備えて

感染対策部会委員長 大年聖子



冬季に流行する疾患のほとんどがウイルス感染症です。

下田メディカルセンターでは「感染しない！感染させない！持ち込まない！」をスローガンに感染対策の強化を行っています。

まもなくインフルエンザ、ノロウイルスが猛威を振るう流行シーズンとなります。これらの感染症は、流行が始まると人から人へ伝播しやすく、特にインフルエンザは、小児に罹患しやすく、高齢者は死亡率が高いと言われています。まずは感染しないことが大切です。不要な外出を避け、正しい手洗い

とマスクの着用を心がけましょう。日頃から感染症に負けない生活習慣を身につけた衛生管理をすることをお奨めします。

また、当センターでは、年2回の職員全体研修会でタイムリーな話題を取り上げ、職員教育の充実を図り、職員の感染対策に関する意識付けをバックアップしています。

今後も感染情報をいち早くキャッチし、賀茂医療圏内での連携に力を入れて参りたいと思います。

問 下田メディカルセンター
☎ 25-2525

姉妹都市だより 長野県塩尻市



やってきました！ 「ヌーボーワイン」の季節

塩尻市では、今年醸造したワインの新酒「ヌーボーワイン」の季節を迎えています。今年はお盆過ぎの長雨により、ブドウの生育が心配されましたが、例年どおりの実りとなり、市内の各ワイナリーでは、今年も爽やかな味わいの新酒が出来上がりました。

また、各ワイナリーでは、インターネットなどを通じてワインの通信販売を行っています。皆さんも塩尻ワインの芳醇な香りと味わ

いを、ぜひ一度ご賞味ください。

問 塩尻市ブランド観光商工課
☎ 0263-52-0280



11月は、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。
税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
青市	小柳心郎 <small>こしろう</small>	8.30	信幸・明美
湊	芳賀沼 <small>しずく</small> 雫	9.2	博文・沙織
加納	高橋龍生 <small>りゅうせい</small>	9.13	研次・千愛
大瀬	菊池咲良 <small>さくら</small>	9.25	信博・芽衣子

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
市之瀬	高橋てい	89	9.6
入間	外岡リセ	95	9.8
下賀茂	進士君子	80	9.9
湊	山本 朗	87	9.10
上賀茂	北川義明	67	9.16
下流	肥田宇多子	85	9.16
毛倉野	山本はるの	101	9.17
青市	高橋嘉夫	94	9.17
二條	岡部武夫	82	9.18
青市	加藤太平	71	9.23
湊	中島 盟	87	9.24
青市	長田富雄	87	9.26

平成27年9月1日から9月30日までに届出のあったもの(敬称略)
※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(10月1日現在)

世帯数 3,957世帯
人口 8,804人(-16)
男 4,211人 女 4,593人
----- (9月中) -----
転入 19 転出 22
出生 4 死亡 17

※住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日)により、外国人も含んでいます。



まちの人

市町対抗駅伝に向けて

かさ い しん
笠 井 慎 さん (加納)

私が走ることを始めたのは中学生の時、陸上競技会に出場したのがきっかけでした。昔から走ることが好きだったので、長距離走に対して特に苦しむことはありませんでした。社会人になった今でも仕事帰りに下田市の敷根公園で毎日10km~15km走っています。

12月に開催されるしずおか市町対抗駅伝は、私にとって1年で一番大きな大会です。今年は7月下旬

からチームの練習がスタートし、小学生から大人まで幅広い年齢層の選手が一丸となり、同じ目標に向かって日々頑張ってきました。今年は各区間の選手のタイムバランスも良く、昨年以上の成績を残すことが期待できます。

チームでは6位入賞、個人では賀茂地区で区間1位、全体でも区間上位を目指して頑張りますので、皆さん応援とご協力をお願いします。

健康一口メモ

お酒の飲みすぎに注意しましょう！

適度な飲酒は、よりよいコミュニケーションや心身のリラックスを促進しますが、習慣的な過度の飲酒は、肝臓などの臓器障害、血圧や心臓への負担など、健康面へ影響を及ぼします。

酒と上手につき合うために・・・

- 1 適度な飲酒量（1日1合程度、純アルコールで約20g）を守り、体に負担をかけない
- 2 食事をしながらゆっくりと飲む
- 3 週に2日は休肝日をつくる
- 4 定期的に健診を受け、肝機能のチェックをする

【アルコール量20gの目安】

ビール
中瓶 1本



日本酒
1合



焼酎(25度)
100ml



ワイン
200ml



問合せ 健康福祉課 ☎ 6 2 - 6 2 3 3

スマイルキッズ



あかり
石廊崎 山本 彩香湊 ちゃん (1歳6か月)

「パパとのお散歩大好き！
風が気持ちイイね♪」

広報みなみいず 11月号

発行日/平成27年11月1日
発行/南伊豆町 編集/企画調整課 印刷/㈱栄協
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamiizu.shizuoka.jp/>

編集後記

フェスタ南伊豆では、杉並区の阿波踊りの踊り子の方々のすてきな笑顔に魅了されました。笑顔はまわりの人を元気にしてくれる！私も毎日笑顔で仕事をしようと思いました。



広報みなみいずは、再生紙を利用しています。